

装管調第 2 4 2 0 号

令和 4 年 2 月 2 1 日

一部改正 装管調第 6 3 3 4 号

令和 7 年 3 月 3 1 日

大 臣 官 房 長

防衛省本省の施設等機関の長

各 幕 僚 長
情 報 本 部 長 殿

防 衛 監 察 監

各 地 方 防 衛 局 長

防衛装備庁長官

(公印省略)

防衛省仕様書等の細部記載要領について (通知)

標記について、装備品等標準化実施細則の制定について (通達) (防装管第 4 9 5 5 号。7. 9. 2 9) 第 1 9 条の規定により、別添のとおり定めたので通知する。本記載要領は、新たに作成又は改正する防衛省仕様書、解説、防衛省仕様書改正票及び正誤表に適用する。

なお、装管調第 1 5 1 号 (2 7. 1 0. 1) は廃止する。

添付書類：防衛省仕様書等の細部記載要領

防衛省仕様書等の細部記載要領

1 適用範圍

この要領は、防衛省仕様書（附属書を含む。）（以下、仕様書という。）、解説、防衛省仕様書改正票（以下、改正票という。）及び正誤表の記載に必要な事項について規定する。

2 記載要領

2.1 全般

- a) 文章、数字及び記号は、パソコン等内蔵の書体とする。
- b) 図及び付図は、パソコン等による作図又はトレースとする。ただし、図及び付図中の文字、数字及び記号は、原則として、前 a) の要領による。
- c) 表及び付表の上・下、左・右、見出し及び注記等を区分する“けい”は“裏けい（太さ約 0.4mm）”とし、他の“けい”は“表けい（太さ約 0.2mm）”とする。ただし、同一の表及び付表が 2 ページ以上に渡るときは、その表及び付表が終わることとなる前のページまでの最下段の“けい”を“表けい”とする。
- d) 仕様書、付図、解説、改正票及び正誤表の様式は、付図 1 ～付図 7 による。

2.2 用字

用字は次による。

- a) 活字の書体、大きさ及び中心距離は、付表による。
- b) 数字記号は J I S Z 8 2 0 1（数学記号）、量記号、単位記号及び化学記号は J I S Z 8 0 0 0－1（量記号、単位記号及び化学記号）及び関連 J I S による。
- c) 漢字の字種及び音訓は、“常用漢字表（平成 2 2 年内閣告示第 2 号）”に記載してあるものを用いる。
- d) 小数点は、次の例のように下の点“.”とする。
例 0.375
- e) 数値の式などで分数を表す場合には、分子と分母との間に横線を用いて表す。ただし、文章中では、斜線を用いて表す。
- f) 例には、それを記載する箇所ごとに、一連番号を“例”に続けて付ける。ただし、例が一つのときには、番号を付けない。
- g) 文章の終わりには、必ず句点“。”を付ける。ただし、題目、標語その他の簡単な語句の場合は付けない。
- h) 文章の中で語句の区切れ続きを明らかにする場合の読点は“，”とする。

2.3 字配り

字配りは、付図 8 によるほか、次による。

- a) 指定品名は、次の例のように括弧の中に入れる。

例 小 ネ ジ
 (SCREW, MACHINE)

- b) 附属書の標題は、次の例による。

例 1	附属書（規定）	附属書A （規定） ・・・の試験方法
例 2	附属書（参考）	附属書B （参考） ・・・の体裁

- c) 解説の標題は、次の例による。

例 DSP K
エンジン油
解説

- d) 本文の最終ページの下方には、次の例のとおり、けい（表けい）を引き、その下に原案作成部課等名を入れる。

例

単位 mm

1 字分開ける。	
原案作成部課等名：陸上自衛隊 補給統制本部〇〇部	↑ 6 ↓
	↑ 19 ↓

2.4 ページの決め方

ページの決め方は、次による。

- a) 仕様書，改正票及び解説は，それぞれ別葉とし，新しくページを起こす。
- b) 仕様書及び改正票の第 1 ページは，ページ番号を表記しない。
- c) 解説のページは，その 1 ページ目から順に“解 1，解 2，解 3，……”としてページ番号を付する。
- d) 仕様書のうち，附属書の最初のページは，必ず奇数ページとする。
- e) 最終のページには，ページ番号の後に下の点“.”を付ける。
- f) “白紙”となったページは，全てページとして取り扱うが，ページ番号は表記しない。
ただし，最終のページが，“白紙”となる場合は，その前のページ（奇数ページ）を最終のページとする。
- g) ページ番号の位置は，付図 2，付図 3，付図 4 及び付図 7 による。

2.5 用紙

用紙は，表 1 を標準とする。

表 1－用紙

区 分	仕上寸法 ^{a)}
仕様書，解説，改正票及び正誤表（付図及び付表を除く。）	A 列 4 番
付図及び付表	A 列 0 番～4 番
注 ^{a)} J I S P O 1 3 8（紙加工仕上寸法）の紙加工仕上寸法をいう。	

3 改正版及び改正票

3.1 改正版及び改正票の基準

改正版及び改正票の基準は，次による。

- a) 改正版による場合
 - 1) 改正記述内容が，基本版ページ数の 30% 程度を超える場合
 - 2) 改正票の発行回数が，5 回目となる場合及びそれまでの改正票の内容総量が，基本版ページ数の 75% 以上となる場合
 - 3) 次の場合，改正記述の内容の多少にかかわらず改正版とする。
 - 1.1) 基本的特性の変更をする場合
 - 1.2) 防衛省仕様書の名称を変更する場合
 - 1.3) 同一箇所の変更が 3 回以上連続する場合
- b) 改正票による場合
前述の a) 以外の場合。改正票による場合は，それまでに制定された改正票を累積記載する。なお，調達に直接影響を及ぼさない簡易な訂正は正誤表によることができる。

改正票を作成する際には、それまでに承認された正誤表を反映させる。

4 正誤表の作成

プロジェクト管理部事業計画官付補給・管理企画室は正誤表原案を作成し、プロジェクト
管理部長の承認を受けて正誤表を決定する。

付表－活字の書体，大きさ及び中心距離

区分	適用		書体	活字の 大きさ	活字の 中心距離				
					横	縦			
仕様書	標題など	防衛省仕様書の文字		M S P ゴシック	13pt	付図 1，付図 3， 及び付図 7 による。			
		防衛省仕様書及び附属書の名称			16pt				
		指定品名			10.5pt				
		防衛省仕様書の 記号及び“D S P”の文字	最初のページ		14pt				
			2 ページ以降		9pt				
		防衛省仕様書の 番号	最初のページ		14pt	付図 1 ～付図 7 に よる。 付図 1，付図 5 及び 付図 6 による。 付図 2 ～付図 4 及 び付図 7 による。			
			2 ページ以降						
		制定年月日及び改正年月日							
	ページ番号								
	文章（ゴシック体と するものを除く。）	かな及び漢字	M S 明朝	9pt	2 ピッチ （52 字）	4 ピッチ （41 行）			
		数字及び英字							
	図，表，付図及び付 表中の文字（ゴシッ ク体とするものを除 く。）	かな及び漢字							
		数字及び英字							
	見出しなど	箇条及び細分箇条の番号並びに 細別符号		M S ゴシック			9pt 半角 文字	2 ピッチ （52 字）	4 ピッチ （41 行）
		見出しとしての“注記”“注” “例”“図”“表”“付図”“ 付表”“単位”“附属書”“解 説”の文字並びに，これらに付 される（“注”を除く。）数字及 び英字					9pt		
		見出しの文字（注記，注，例及 び表の中の見出しは除く。）及 び，関連文書番号（引用規格番 号， 参考規格番号，参考仕様書番号 など）							
	本文の注の番号及び片括弧並びに 図，表中の注のアルファベット（小 文字）及び片括弧		M S 明朝	9pt 上付き 片括弧			—		
	仕様書の本文末尾の下方に印刷する “原案作成部課等名”の文字及び原 案作成部課等名			9pt	2 ピッチ	4 ピッチ			

付表－活字の書体，大きさ及び中心距離（続き）

区分	適用		書体	活字の 大きさ	活字の 中心距離	
					横	横
付図	標 題 な ど	“防衛省”の文字	M S P ゴシック	16pt	仕様書に準じ付図 2による。	
		“図番，名称，尺度”，“番 号，品名，材料，数量，注記” の文字		14pt		
		その他	仕様書に準ずる。			
	その他		仕様書に準ずる。			
解説	標 題		M S P ゴシック	16pt	付図 4 による。	
	そ の 他		仕様書に準ずる。			
改正票	標 題 な ど	“防衛省仕様書改正票”の文字	M S P ゴシック	13pt	仕様書に準じ付図 5 による。	
		その他	仕様書に準ずる。			
	その他		仕様書に準ずる。			
正誤表	標 題 な ど	“正誤表”の文字	M S P ゴシック	14pt	仕様書に準じ付図 6 による。	
		その他	仕様書に準ずる。			
	その他		仕様書に準ずる。			
注記	活字の中心距離欄に“適宜”と示したものは，美観を損なわない程度とする。					

付図 1－防衛省仕様書の第 1 ページの様式

単位 mm

210±2

32

22

40

防衛省仕様書

10

最大 90

防衛省仕様書の名称

6

(指 定 品 名)

14

(上の記載始めの位置)

25

84.5±1

16

(中心線)

(横の記載始めの位置)

40

80

297±2

80

19

(下の記載の限界)

18

D S P

3

防衛省仕様書の番号

3

制定 年 月 日

3

改正 年 月 日

注記 1 “防衛省仕様書”の文字，防衛省仕様書の名称及び指定品名は，中心線に対して対象的に文字を配する。

注記 2 防衛省仕様書の名称及び指定品名の字間隔は，美観を損なわない程度に適宜でよい。ただし，その長さは90 mmを超えない。

なお，2行にわたるときの文字の配列及び上の印刷始めの位置については，担当者の指示による。

注記 3 “D S P”の文字，防衛省仕様書の番号，制定年月日及び改正年月日は，その中心線に対して対象的に文字を配する。

注記 4 許容差を示していない寸法は，標準値を示す。

付図 2 ー 付図の様式

単位 mm

The diagram illustrates the layout of a drawing (付図) on an A4 sheet. It includes dimensions for margins and the placement of various elements.

Dimensions:

- Top margin: 25 mm
- Left margin: 25 mm
- Right margin: 16 mm
- Bottom margin: 19 mm
- Width of the drawing area: 84.5 ± 1 mm
- Width of the title block: 16 mm

Elements and Placement:

- Page Number (ページ番号):** Located at the top right, with a height of 11 mm.
- Drawing Number (防衛省仕様書の番号):** Located below the page number, with a height of 4 mm.
- Title Block (防衛省仕様書の番号):** A vertical block on the right side containing the following text from top to bottom: 防, 衛, 省, 一, 度, 尺, 題, 標, 名, 称, 付図〇〇, 図番.
- Center Line (中心線):** A vertical dashed line running through the center of the drawing area.
- Horizontal Start Position (横の記載始めの位置):** Indicated by a vertical line at the left margin.
- Horizontal Limit (横の記載の限界):** Indicated by a vertical line at the right margin.
- A 4 横様式の標題等の表示位置:** Indicated by an arrow pointing to the title block.
- A 4 縦様式の標題等の表示位置:** Indicated by an arrow pointing to the title block.
- Bottom Limit (下の記載の限界):** Indicated by a horizontal line at the bottom margin.

図番	付図〇〇	名称	標 題	尺度	一
防			衛		省

付図2－付図の様式（続き）

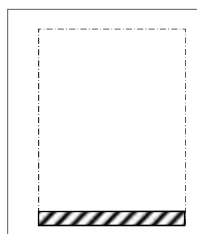
注記1 付図の標題等は，次を標準とする。

	15	40	40	15	59		
	15	25	15	80	15	19	
7	番号	品名	材 料	数量	注記		
7	図番	付図〇〇	名称	標 題		尺度	—
8	防			衛			省

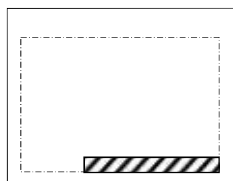
注^{a)} 本文で規定している用語を使用することができる。

注^{b)} 補足して規定する事柄を記載する。

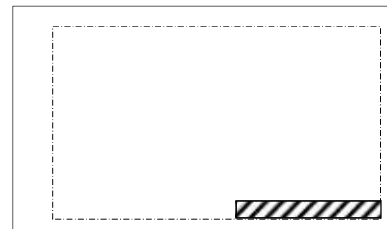
注記2 付図の標題等の表示位置は，次による。



a) A4縦様式



b) A4横様式



c) A0～3様式

注記3 付図の第2ページ以降の前後・左右の余白は，付図7に準ずる。

注記4 A4用紙よりも大きい用紙を使用する場合のページ番号は，奇数ページとし，裏面は“白紙”とする。

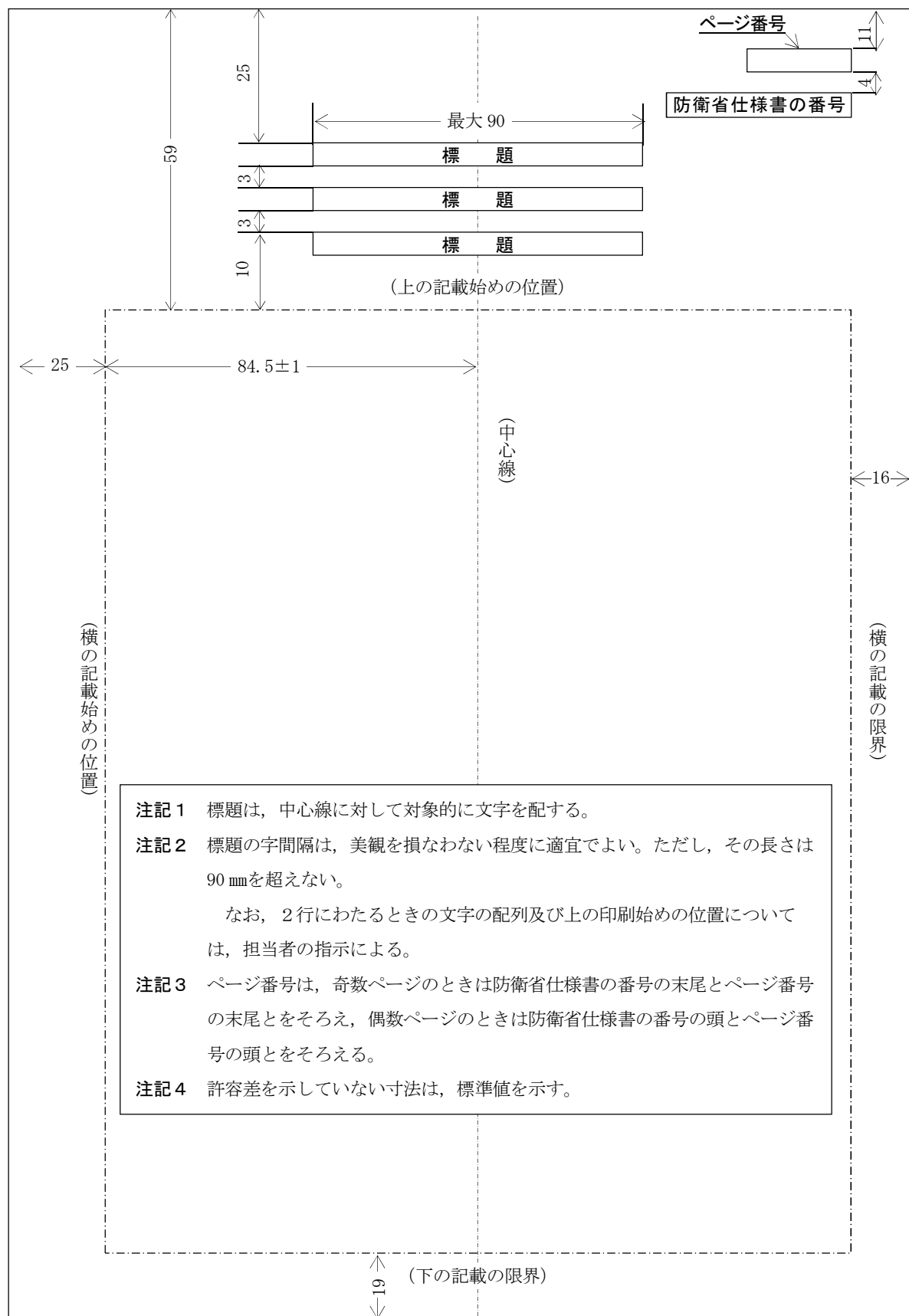
注記5 “尺度”欄は，尺度を設定していない場合は，“—”を記入する。

注記6 “番号，品名，材料，数量，注記”欄は，記入する必要が無い場合は削除し，本欄をそのまま使用すると図に影響する場合は，余白に記入する。

注記7 許容差を示していない寸法は，標準値を示す。

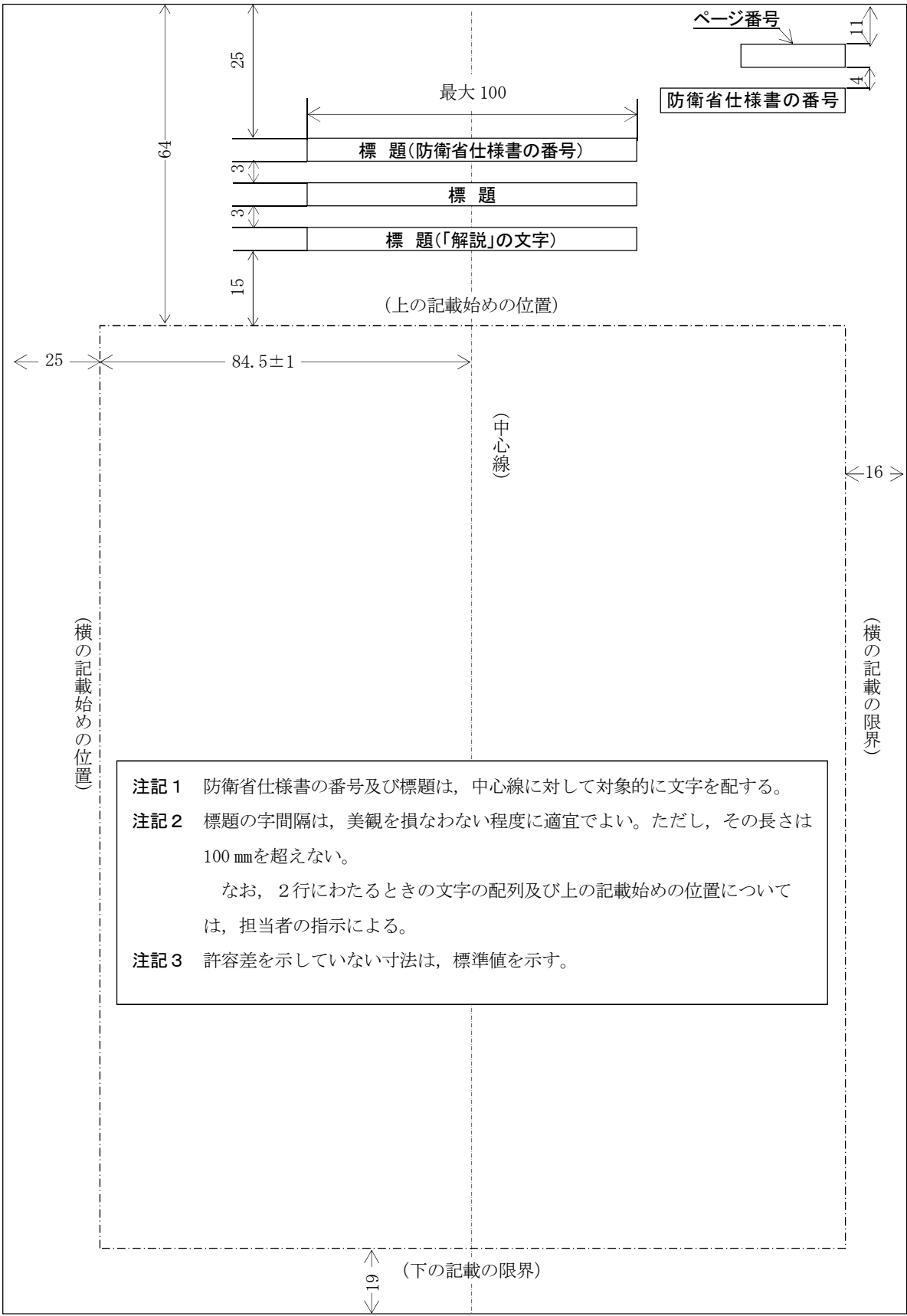
付図 3－附属書の第 1 ページの様式

単位 mm



付図４－解説の第１ページの様式

単位 mm



付図５－防衛省仕様書改正票の第１ページの様式

単位 mm

22

60

防衛省仕様書

18

D S P

10

最大 90

防衛省仕様書の名称

6

(指 定 品 名)

防衛省仕様書の番号

制定 年 月 日

改正 年 月 日

12

130

3

頭書き文書^{a)}

3

3

10

25

84.5 ± 1

(横の記載始めの位置)

(中心線)

(横の記載の限界)

16

19

(下の記載の限界)

注記 1 “防衛省仕様書改正票”の文字，防衛省仕様書の名称，指定品名及び防衛省仕様書改正票の序文は，中心線に対して対称的に文字を配する。

注記 2 防衛省仕様書の名称及び指定品名の字間隔は，美観を損なわない程度に適宜でよい。ただし，その長さは90 mmを超えない。

なお，2行にわたるときの文字の配列及び上の印刷始めの位置については，担当者の指示による。

注記 3 “D S P”の文字，防衛省仕様書の番号制定年月日及び改正年月日は，その中心線に対して対称的に文字を配する。

注記 4 許容差を示していない寸法は，標準値を示す。

注^{a)} 頭書き文書は，関連仕様書との併用の必要を示す文書であり，次による。

“この改正票は，D S P □ ○○○○^{部門記号} ○○○○^{番号} △^{改正版記号} (防衛省仕様書の名称) についてのものであり，D S P □ ○○○○△^{改正票番号} (▽) を含め累積記載されている。この改正票はD S P □ ○○○○△と併用される。”

付図6－正誤表の第1ページの様式

単位 mm

22

40

防衛省仕様書

10

最大 90

防衛省仕様書の名称

6

(指 定 品 名)

21

50

正誤表

18

D S P

防衛省仕様書の番号

制定 年 月 日

改正 年 月 日

(上の記載始めの位置)

(中心線)

84.5±1

(横の記載始めの位置)

(横の記載の限界)

16

25

19

(下の記載の限界)

注記 1 防衛省仕様書及び正誤表の文字，防衛省仕様書の名称並びに指定品名は，中心線に対して対症的に配置する。

注記 2 改正票の正誤表の場合は，防衛省仕様書改正票の文字の幅を60mmとする。

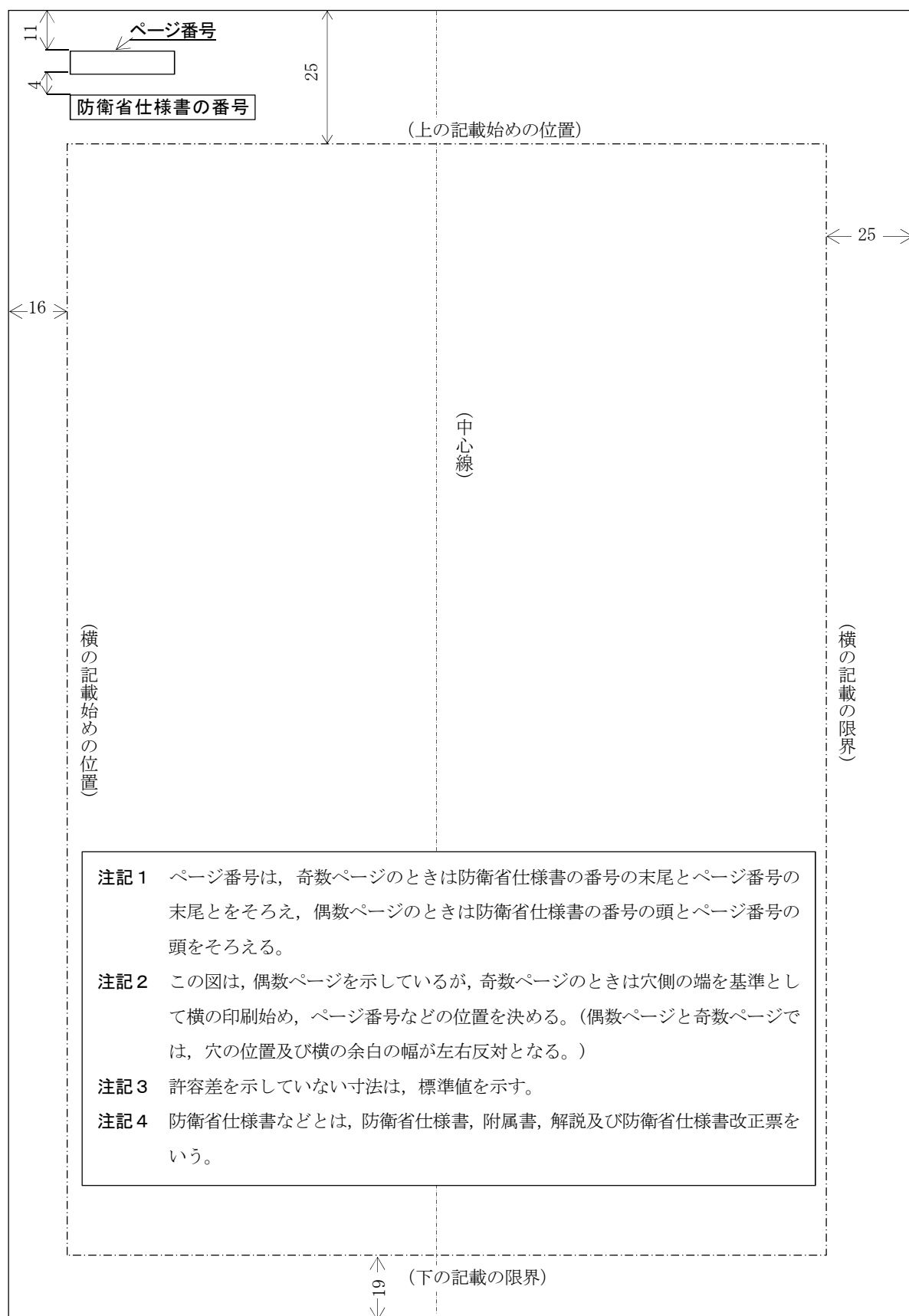
注記 3 防衛省仕様書の名称及び指定品名の字間隔は，美観を損なわない程度に適宜でよい。ただし，その長さは90mmを超えない。
なお，2行にわたるときの文字の配列については，担当者の指示による。

注記 4 D S Pの文字，防衛省仕様書の番号，制定年月日及び改正年月日は，その中心線に対して対症的に配置する。

注記 5 許容差を示していない寸法は，標準値を示す。

付図 7 ー 防衛省仕様書などの第 2 ページ以降の様式

単位 mm



2

防衛省仕様書の番号

2.2 構成

[illegible][illegible]

注記 1

注記2

2.3 材料

[illegible][illegible][illegible]

2.3.1 □ □ □ □ □ □ □ □ □

[illegible][illegible]

1) □□□

[illegible][illegible]

注記 1 差し込み表を記載するときは、本文の中心に対して左右が対象となるように記載する。

注記2 箇条番号及び箇条の見出し等は、字配りを示すために列記したものである。

注記3 改正年月日の記入枠は改正時に記入する。

注記4 図・表を本体・附属書・解説のそれぞれの終わりにまとめて掲げる場合は、付図・付表として記載する。